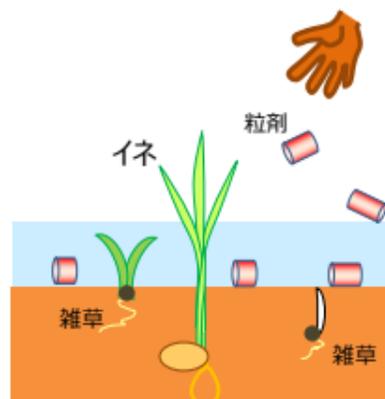


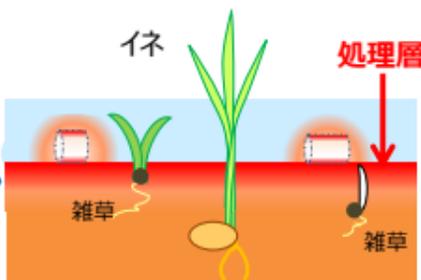


効果的に中後期除草剤を散布しましょう！

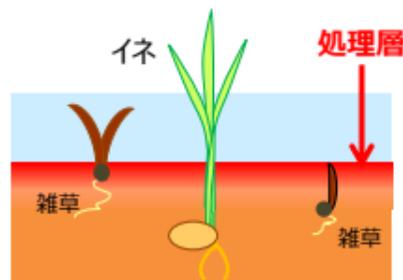
①除草剤散布



②水中に溶け出した有効成分は約1~2日かけて水中を広がります。その後、有効成分はさらに約1~2日かけて土壌表面に沈降&吸着して除草剤の**処理層**を形成します。



③雑草は根や茎葉部分が**処理層**に触れることで枯れます。
※イネも処理層に根が触れると枯れることがありますが、通常は根が処理層より下にあるので枯れません。



ポイント！

土壌表面にしっかりと除草剤の処理層が形成されないと、殺草効果や抑草効果(残効性)が発揮できません。したがって、**除草剤散布後の水管理は非常に重要です。**
※少なくとも3~4日程度は湛水状態を保ってください。

津管内でよく見られる大型雑草



クサネム

クサネム (マメ科)

1年草。荒地や田のあぜなど多いが水田にも多く生えます。水田に生えると、コンバイン刈取りの邪魔になったり、種子が米に混入して品質を落とすことが問題になっています。葉が特徴的な羽状複葉のため意外と、液剤でも枯れ残ることがあります。



アメリカミズキンバイ (別名ヒレタゴボウ)

ヒレタゴボウ (アカバナ科チョウジタデ属)

1年草。8月頃から黄色い花を咲かせます。休耕田・水田のあぜや湿地などに生育します。花は、黄色く一つずつ点々と咲きます。チョウジタデによく似てます。花の大きさは、ヒレタゴボウ (大きい) > チョウジタデ (小さい) 草丈は、1メートルを超えます。

ミーユ インフォメーション

中後期除草剤キャンペーンを実施中です！

お得な価格で雑草対策！詳しくは最寄りの営農センターまで！

